

第48回 景気動向レポート

2023年10～12月期

○概要

調査時期 令和5年12月上旬
 調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、
 伊勢原市、秦野市、座間市、
 海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 319先
 回答先数 当金庫取引先 316先
 (内訳) 製造業：61先
 卸売業：19先
 小売業：47先
 サービス業：74先
 建設業：85先
 不動産業：30先

回答率 99.1%

○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、
 調査先による直接記入・回収方式

○分析方法

DI (Diffusion Index)

DIとは、各質問項目に対して「良い(増加・上昇)」
 と回答された企業の割合から「悪い(減少・下降)」
 と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

DIがプラスであれば上向き、0であれば現状維持、
 マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況DIの推移 (業種別DI天気図)

	2022年 10-12月期	2023年 1-3月期	2023年 4-6月期	2023年 7-9月期 (前期)	2023年 10-12月期 (当期)	2024年 1-3月期 (予想)
製造業	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↔ ☁	↗ ☁	↗ ☀
卸売業	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁
小売業	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↔ ☁	↘ ☁
サービス業	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁
建設業	↗ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁
不動産業	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁
全業種	↗ ☁	↘ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁	↗ ☁



全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況D I は改善、売上・収益D I は悪化の見込み

2023年10～12月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比+6.7ポイントの7.3と改善。製造業・卸売業、サービス業、建設業が改善、小売業が横這い、不動産業は悪化となりました。

売上DIについては、対前期比+10.4ポイントの16.5となり、収益DIは対前期比+8.2ポイントの6.0となりました。

その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比+1.2ポイントの20.3となり4期ぶりの上昇、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比▲1.7ポイントの47.0となり3期連続の低下、資金繰りDIは対前期比+2.5ポイントの▲1.3と3期連続の上昇となりました。

来期（2024年1～3月期）の業況予想では、製造業・サービス業・不動産業で改善、卸売業・小売業・建設業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比+1.7ポイントの9.0と改善を見込んでいます。

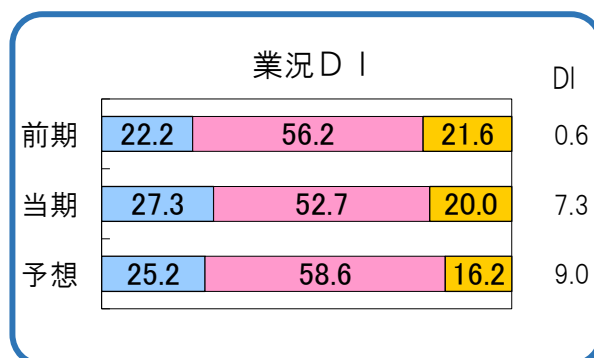
主要D I 構成



○業況D I



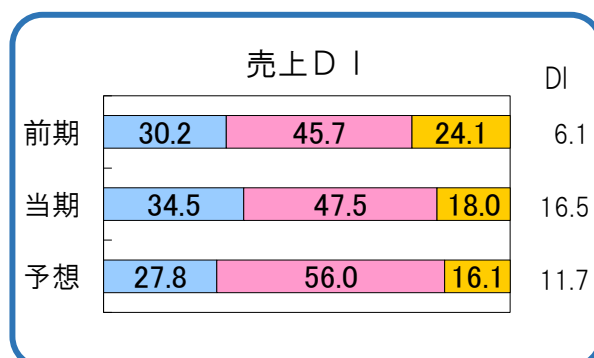
業況DIは、対前期比+6.7ポイントの7.3(前年同期1.3・前回予想との差±0)と3期連続の改善となりました。今後の業況DIは、製造業・サービス業・不動産業で改善、卸売業・小売業・建設業で悪化を予想しており、対当期比+1.7ポイントの9.0と改善を見込んでいます。



○売上D I



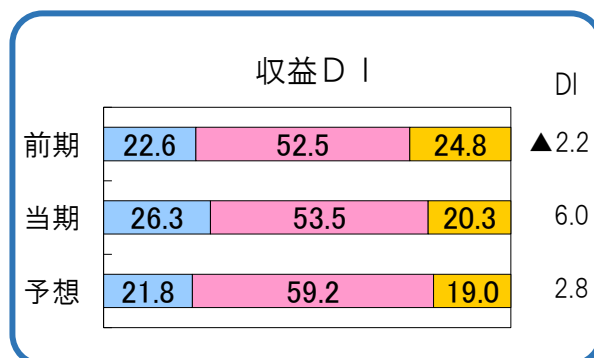
売上DIは、対前期比+10.4ポイントの16.5（前年同期16.5・前回予想との差+3.4）と大幅な改善となりました。今後の売上DIは、対当期比▲4.8ポイントの11.7と悪化を見込んでいます。



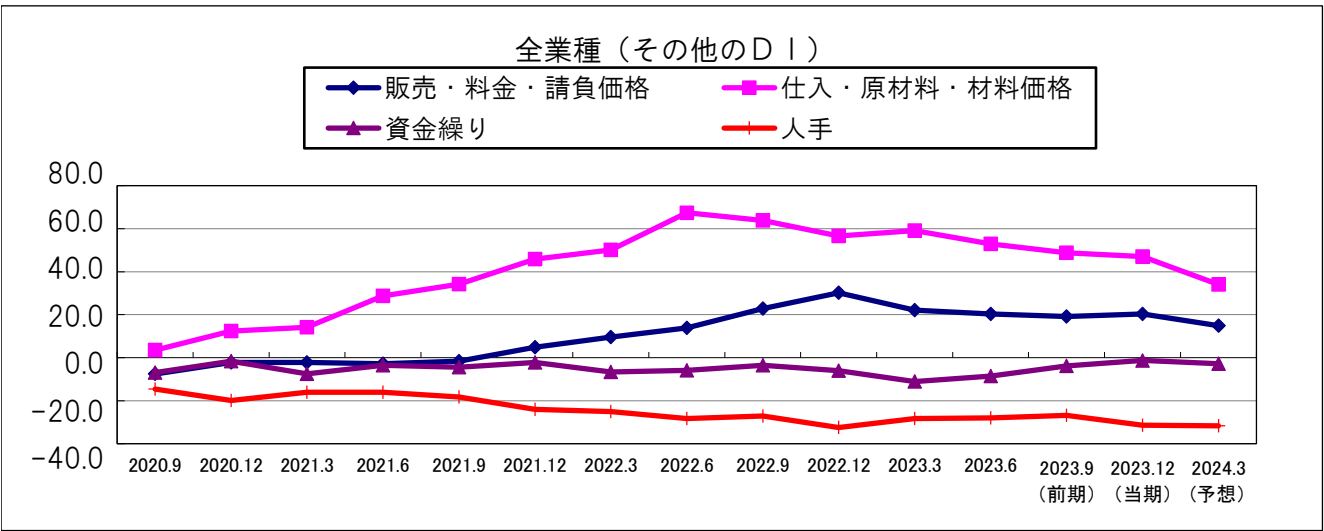
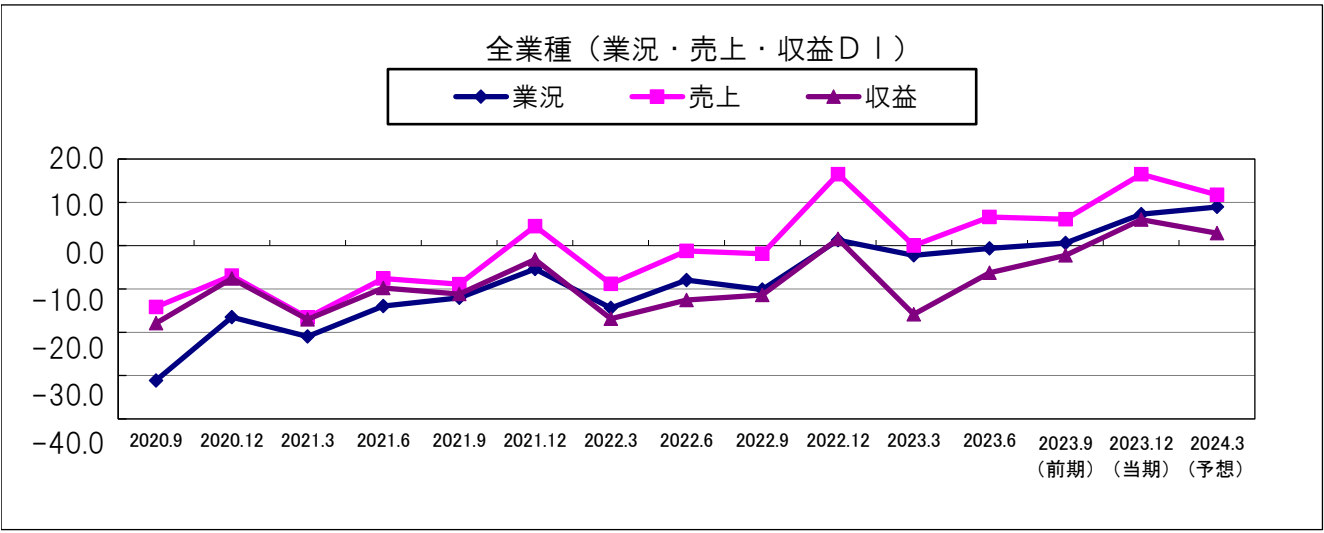
○収益D I



収益DIは、対前期比+8.2ポイントの6.0(前年同期1.6・前回予想との差+1.2)と3期連続の改善となりました。今後の収益DIは、対当期比▲3.2ポイントの2.8と悪化を見込んでいます。



DIの推移



経営サポートセンターNEWS

今年は横浜大さん橋ホールで開催！「第11回ビジネスマッチングwithかながわ8信金」

神奈川県内の8信用金庫が主催となって、県内で活動される企業を中心に、新たなビジネス・パートナーを見つけるため、製造・食品・物販関係の事業者を対象とした個別商談会を2024年6月5日（水）に会場開催します。本商談会は、商談会専用ホームページ上で商談したい相手先を探していただき、発注・受注企業からの商談希望をもとに個別商談の機会を提供します。新たなビジネスパートナーをご紹介し、今後のビジネスを展開する上で有益となるネットワークの構築に繋がっていきますので、興味ある方は是非お問い合わせください。詳しくは、QRコードよりご確認ください。*発注及び受注の両方参加も可能。

第11回
ビジネス
マッチング
with
かながわ8信金

2024年6月5日(水)
8:50～17:00(予定)

大さん橋ホール
横浜市中区海岸線1-1-4
みなとみらい線 日本大通り駅 徒歩7分

発注・バイヤー側企業様
募集規模(予定) 100社
募集期間 2023年12月7日(木)～2024年2月8日(木)

受注・サプライヤー側企業様
募集規模(予定) 200社
募集期間 2024年2月19日(月)～2024年3月19日(火)

受注・バイヤー	発注・サプライヤー
募集規模:100社 募集期間 2023年12月7日(木) ～ 2024年2月8日(木) *エントリーは、 QRコードより可能！！	募集規模:200社 募集期間 2024年2月19日(月) ～ 2024年3月19日(火) *エントリーは、 QRコードより可能！！



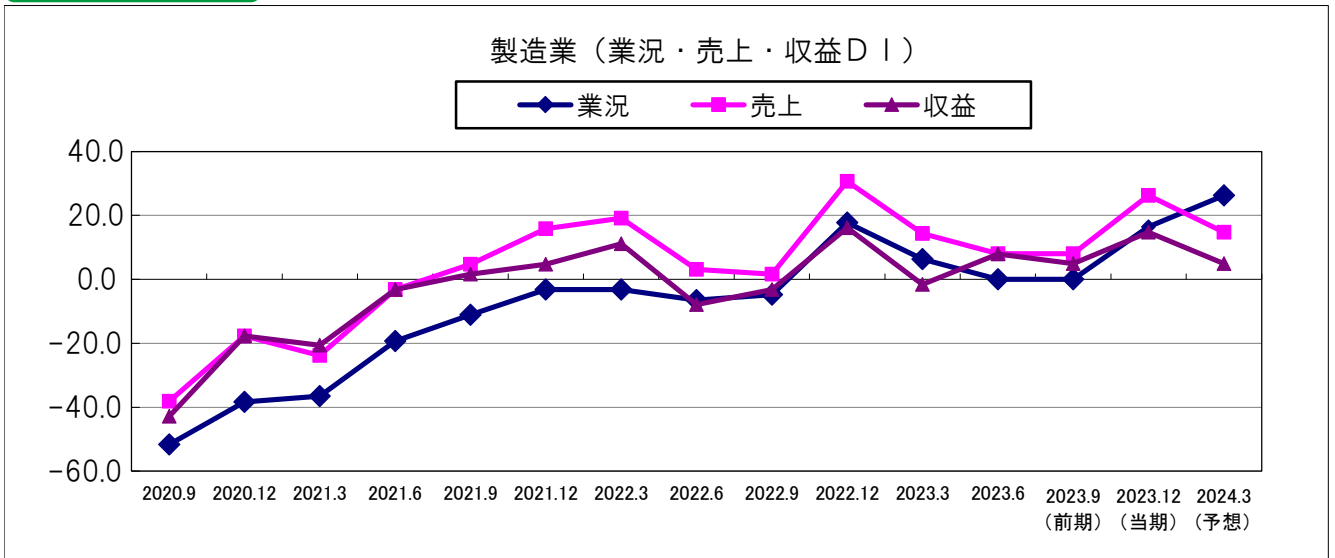
〈お問合せ先〉 営業統括部 経営サポートセンター
〒254-0043 平塚市紅谷町11-19
TEL 0463-24-3031
E-mail: sb1286100@hiratsuka-shinkin.jp

製造業

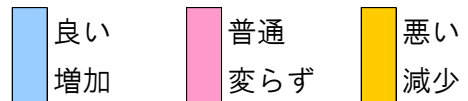
今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況D Iは改善、売上・収益D Iは悪化の見込み

主要D I 推移



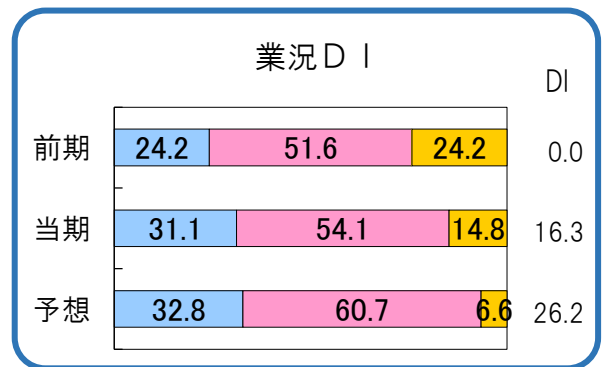
主要D I 構成



○業況D I



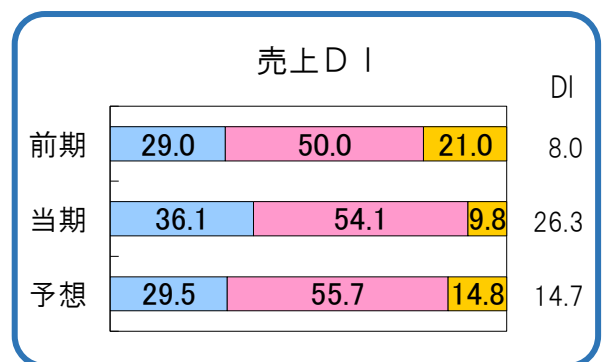
業況DIは、対前期比+16.3ポイントの16.3(前年同期17.7・前回予想との差+1.8)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比+9.9ポイントの26.2と改善を見込んでいます。



○売上D I



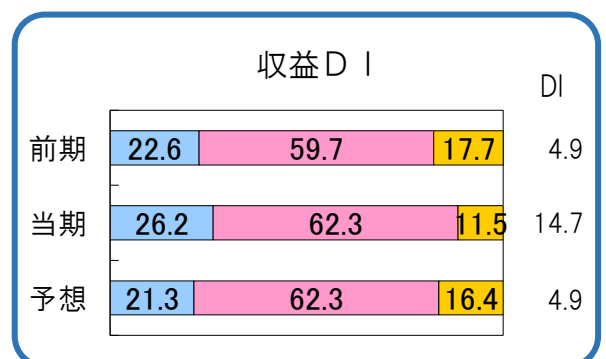
売上DIは、対前期比+18.3ポイントの26.3(前年同期30.6・前回予想との差+6.9)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲11.6ポイントの14.7と大幅な悪化を見込んでいます。



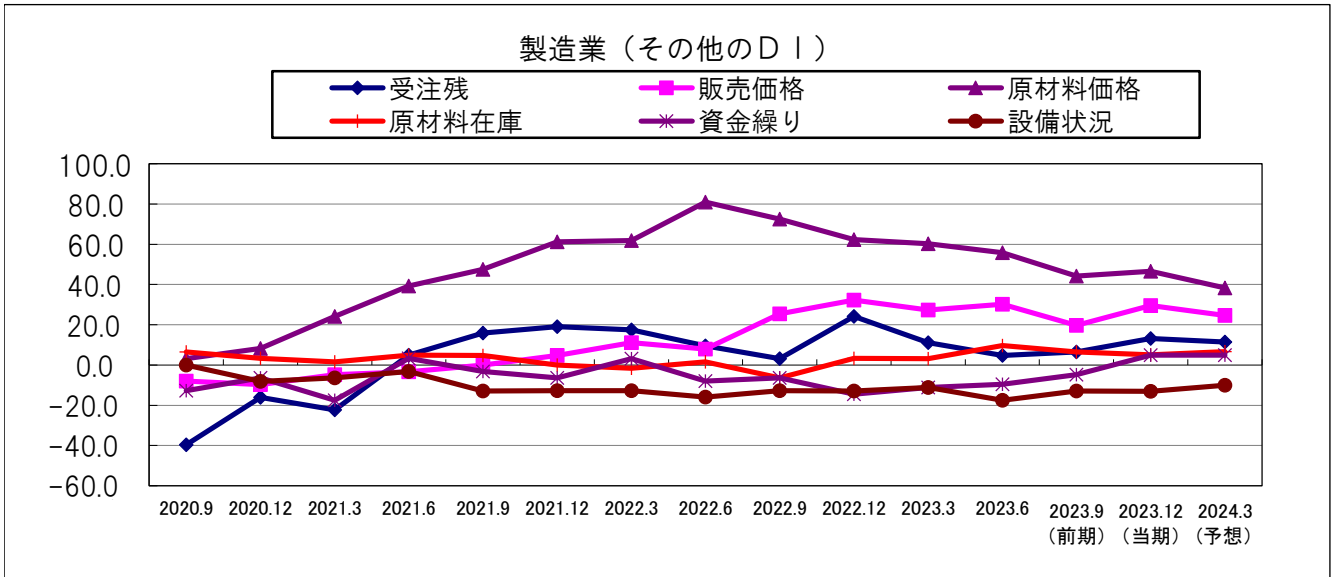
○収益D I



収益DIは、対前期比+9.8ポイントの14.7(前年同期16.1・前回予想との差+6.6)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲9.8ポイントの4.9と悪化を見込んでいます。



その他のD | 推移

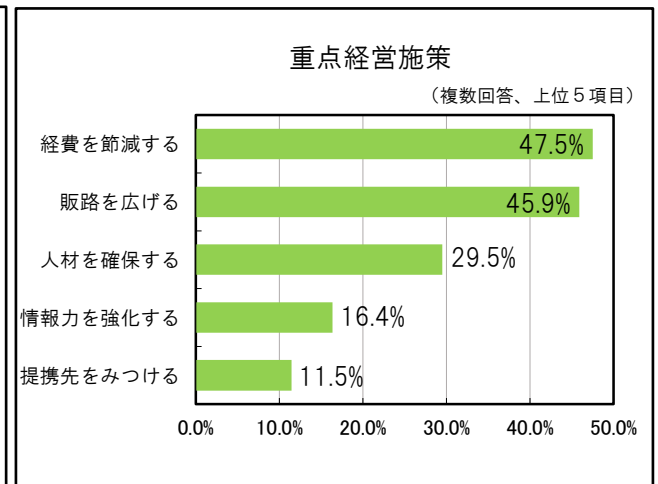
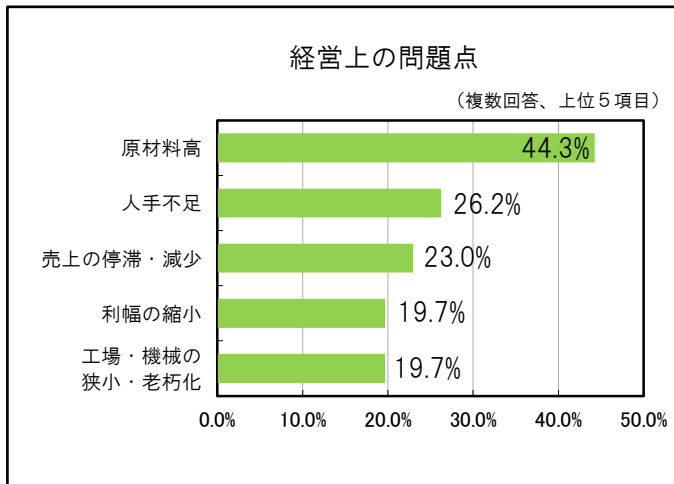


○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは+6.6ポイントの13.1、販売価格DIは+9.8ポイントの29.5、原材料価格DIは+2.4ポイントの46.7、原材料在庫DIは▲1.6ポイントの5.0、資金繰りDIは+9.7ポイントの4.9、設備状況DIは▲0.2ポイントの▲13.1となりました。

今後は、原材料在庫DI・設備状況DIは上昇、資金繰りDIは横這い、受注残DI・販売価格DI・原材料価格は低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が44.3%と最も多く、次いで「人手不足」26.2%、「売上の停滞・減少」23.0%、「利幅の縮小」「工場・機械の狭小・老朽化」が共に19.7%となりました。

【重点施策】

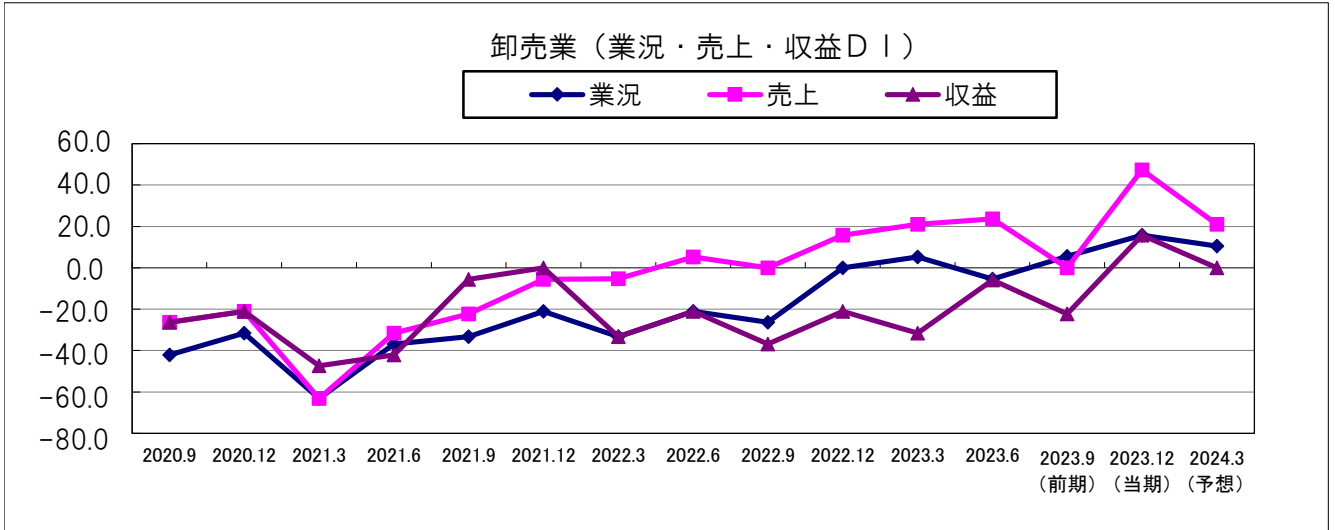
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が47.5%と最も多く、次いで「販路を広げる」45.9%、「人材を確保する」29.5%、「情報力を強化する」16.4%、「提携先をみつける」が11.5%となりました。

卸売業

今期：業況・売上・収益D I は改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

主要D I 推移

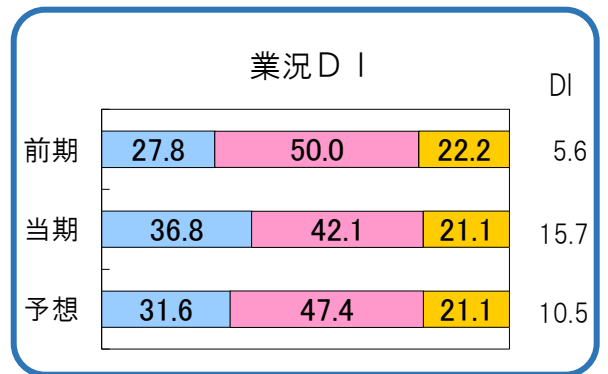


主要D I 構成

○業況D I



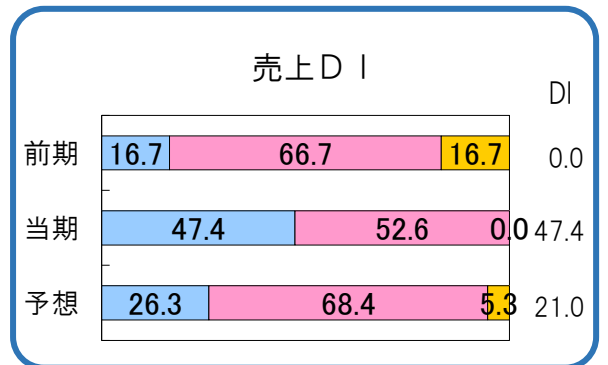
業況DIは、対前期比+10.1ポイントの15.7(前年同期0.0・前回予想との差▲1.0)と2期連続の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲5.2ポイントの10.5と悪化を見込んでいます。



○売上D I



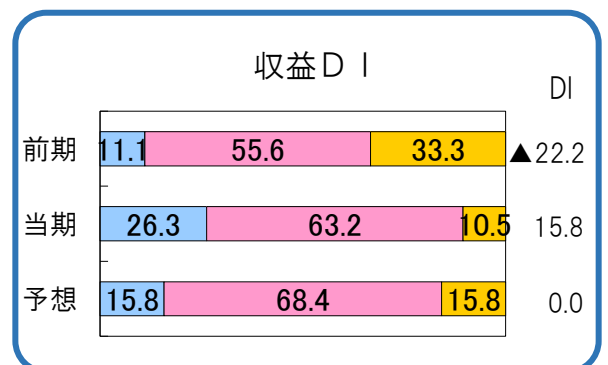
売上DIは、対前期比+47.4ポイントの47.4(前年同期15.8・前回予想との差+14.1)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲26.4ポイントの21.0と大幅な悪化を見込んでいます。



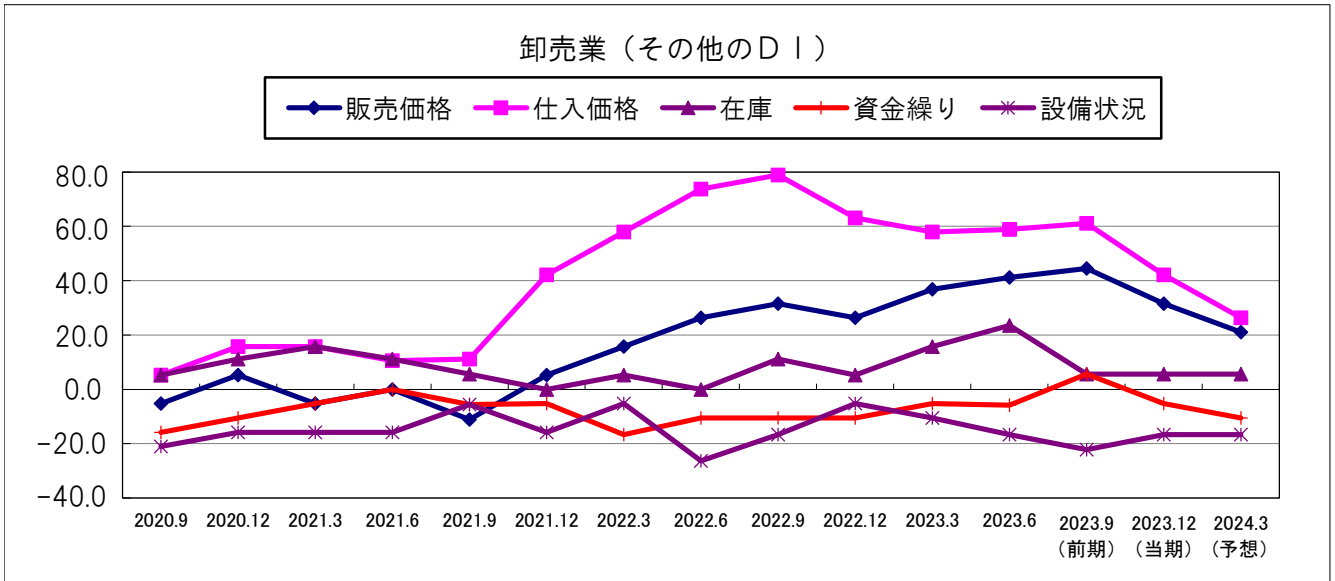
○収益D I



収益DIは、対前期比+38.0ポイントの+15.8(前年同期▲21.1・前回予想との差+4.7)と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲15.8ポイントの0.0と大幅な悪化を見込んでいます。



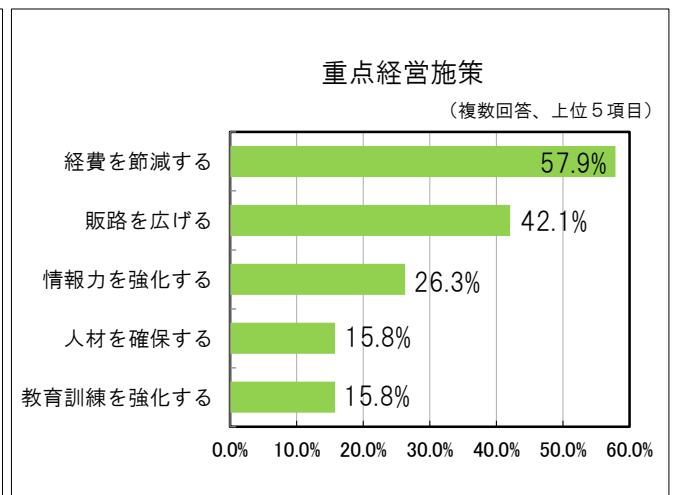
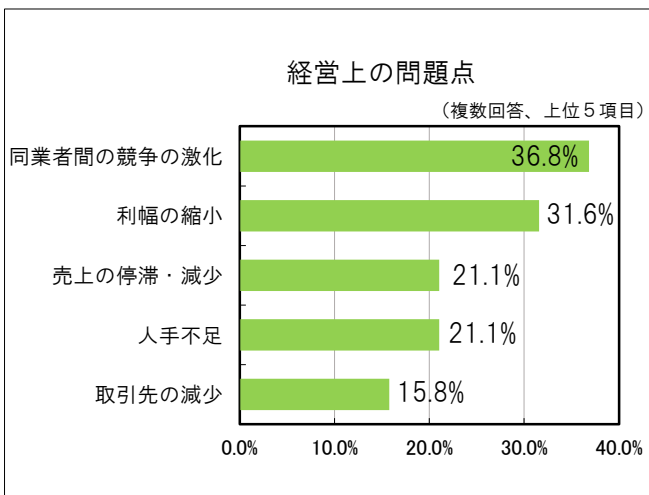
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは▲12.8ポイントの31.6、仕入価格DIは▲19.0ポイントの42.1、在庫DIは±0.0ポイントの5.6、資金繰りDIは▲10.9ポイントの▲5.3、設備状況DIは+5.5ポイントの▲16.7となりました。今後は、在庫DI・設備状況DIは横這い、販売価格DI・仕入価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「同業者間の競争の激化」が36.8%と最も多く、次いで「利幅の縮小」31.6%、「売上の停滞・減少」「人手不足」が共に21.1%、「取引先の減少」15.8%となりました。

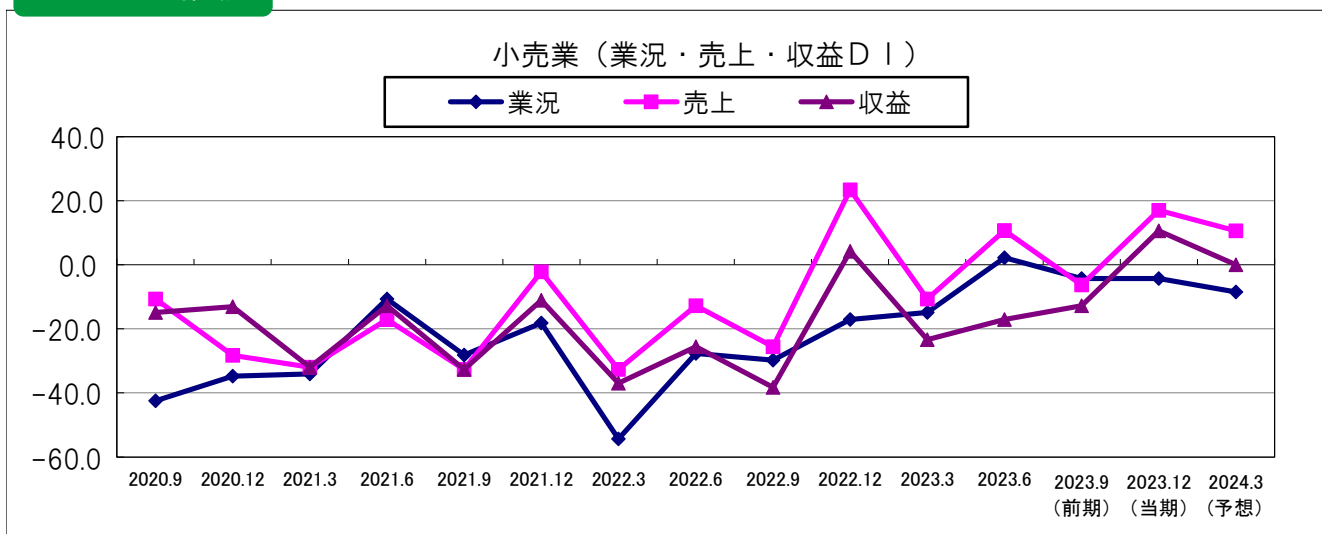
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が57.9%と最も多く、次いで「販路を広げる」42.1%、「情報力を強化する」26.3%、「人材を確保する」「教育訓練を強化する」が共に15.8%となりました。

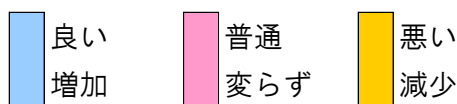
小売業

今期：売上・収益DIは改善、業況DIは横這い
 来期：業況・売上・収益DI共に悪化の見込み

主要DI推移



主要DI構成



○業況DI



業況DIは、対前期比±0.0ポイントの▲4.3(前年同期▲17.0・前回予想との差±0.0)の横這いとなりました。今後の業況DIについては、対当期比▲4.2ポイントの▲8.5と悪化を見込んでいます。

業況DI			DI	
前期	25.5	44.7	29.8	▲4.3
当期	23.4	48.9	27.7	▲4.3
予想	21.3	48.9	29.8	▲8.5

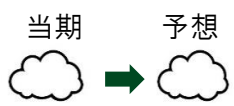
○売上DI



売上DIは、対前期+23.3ポイントの17.0(前年同期23.4・前回予想との差▲6.4)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲6.4ポイントの10.6と悪化を見込んでいます。

売上DI			DI	
前期	27.7	38.3	34.0	▲6.3
当期	40.4	36.2	23.4	17.0
予想	25.5	59.6	14.9	10.6

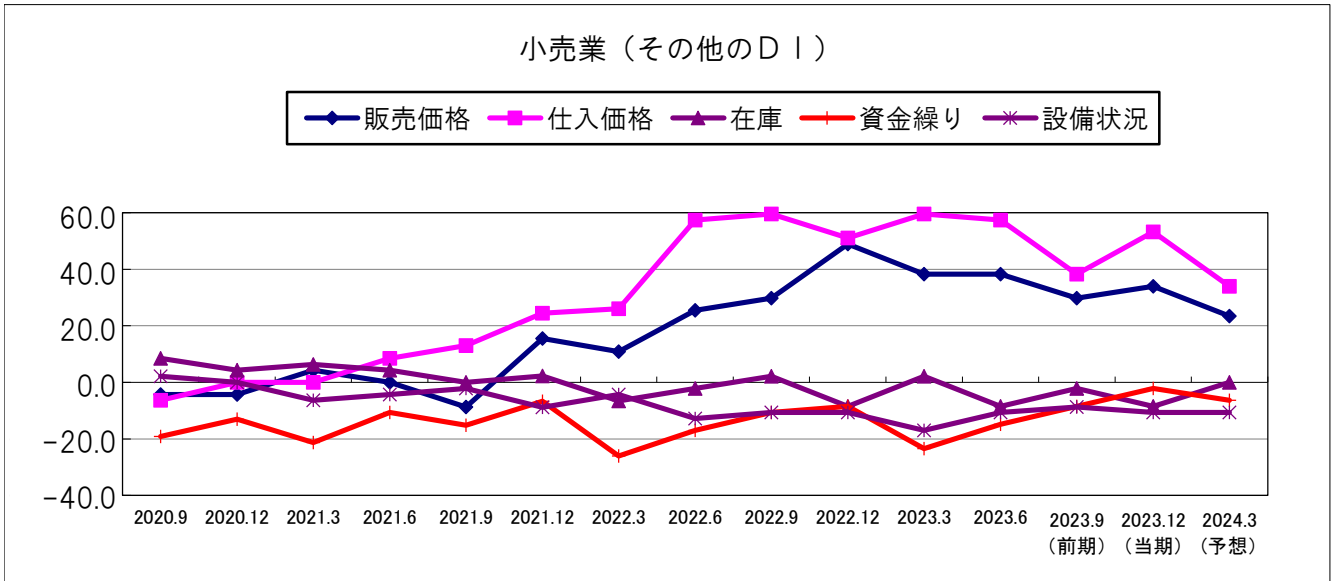
○収益DI



収益DIは、対前期比+23.5ポイントの10.7(前年同期4.3・前回予想との差▲2.1)と3期連続の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲10.7ポイントの0.0と大幅な悪化を見込んでいます。

収益DI			DI	
前期	17.0	53.2	29.8	▲12.8
当期	36.2	38.3	25.5	10.7
予想	21.3	57.4	21.3	0.0

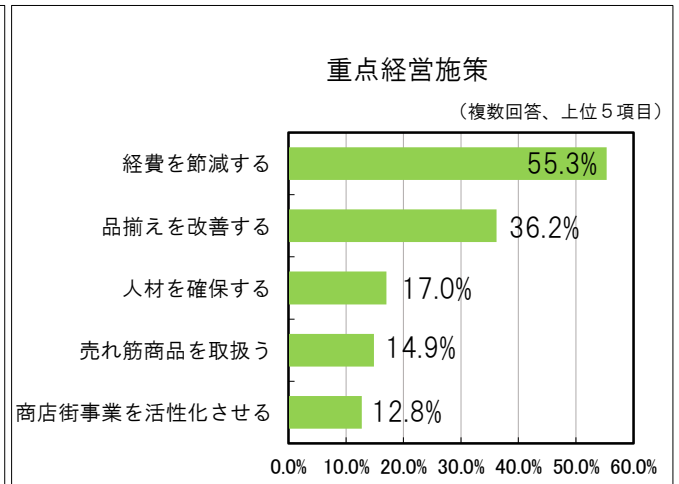
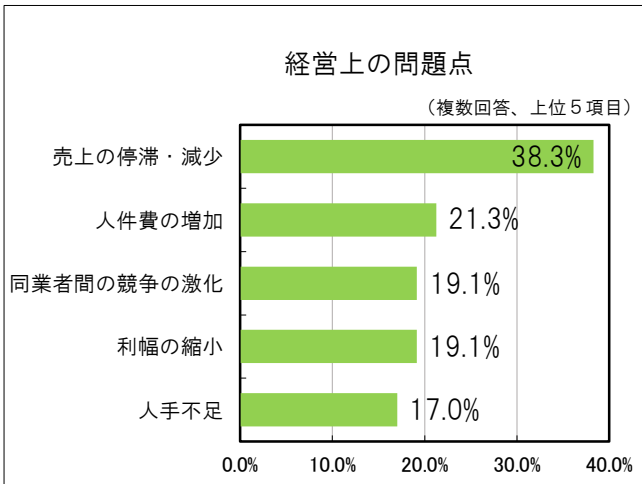
その他のD | 推移



○その他のD |

対前期比でみると、販売価格DIは+4.2ポイントの34.0、仕入価格DIは+14.9ポイントの53.2、在庫DIは▲6.4ポイントの▲8.5、資金繰りDIは+6.4ポイントの▲2.1、設備状況DIは▲1.9ポイントの▲10.6となりました。今後は、在庫DIは上昇、設備状況DIは横這い、販売価格DI・仕入価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が38.3%と最も多く、次いで「人件費の増加」21.3%、「同業者間の競争の激化」「利幅の縮小」が共に19.1%、「人手不足」17.0%となりました。

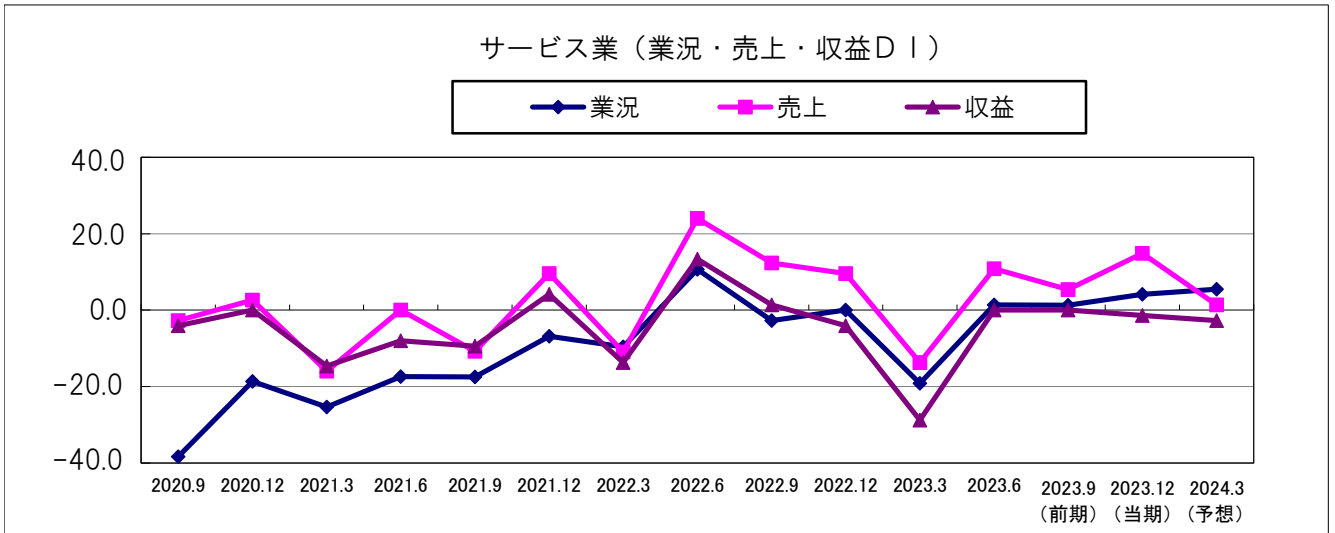
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が55.3%と最も多く、次いで「品揃えを改善する」36.2%、「人材を確保する」17.0%、「売れ筋商品を取扱う」14.9%、「商店街事業を活性化させる」12.8%となりました。

サービス業

今期：業況・売上DIは上昇、収益DIは悪化
 来期：業況DIは上昇、売上・収益DIは悪化の見込み

主要DI推移



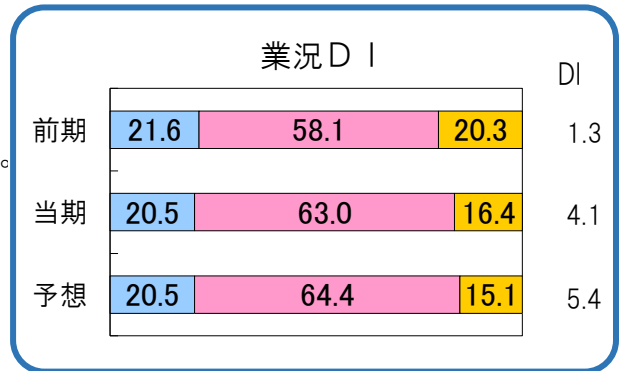
主要DI構成



○業況DI



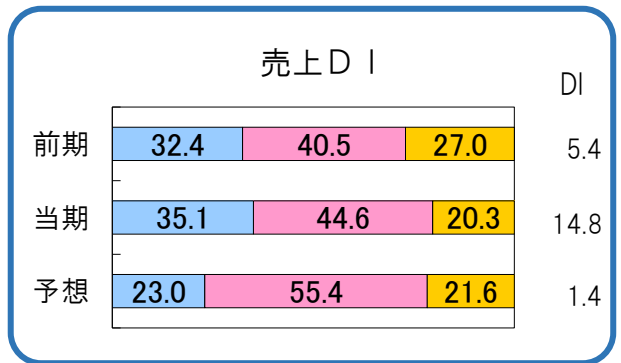
業況DIは、対前期比+2.8ポイントの4.1(前年同期0.0・前回予想との差▲2.6)の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比+1.3ポイントの5.4と改善を見込んでいます。



○売上DI



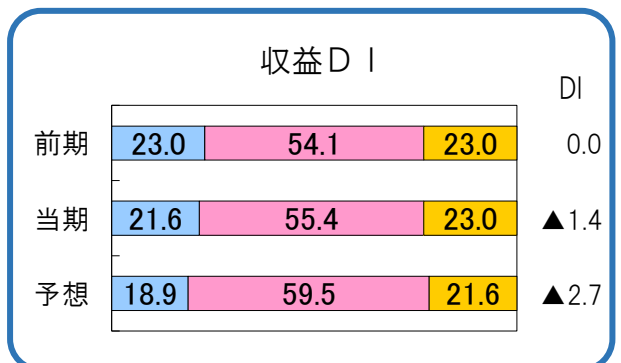
売上DIは、対前期比+9.4ポイントの14.8(前年同期9.6・前回予想との差+5.4)の改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲13.4ポイントの1.4と大幅な悪化を見込んでいます。



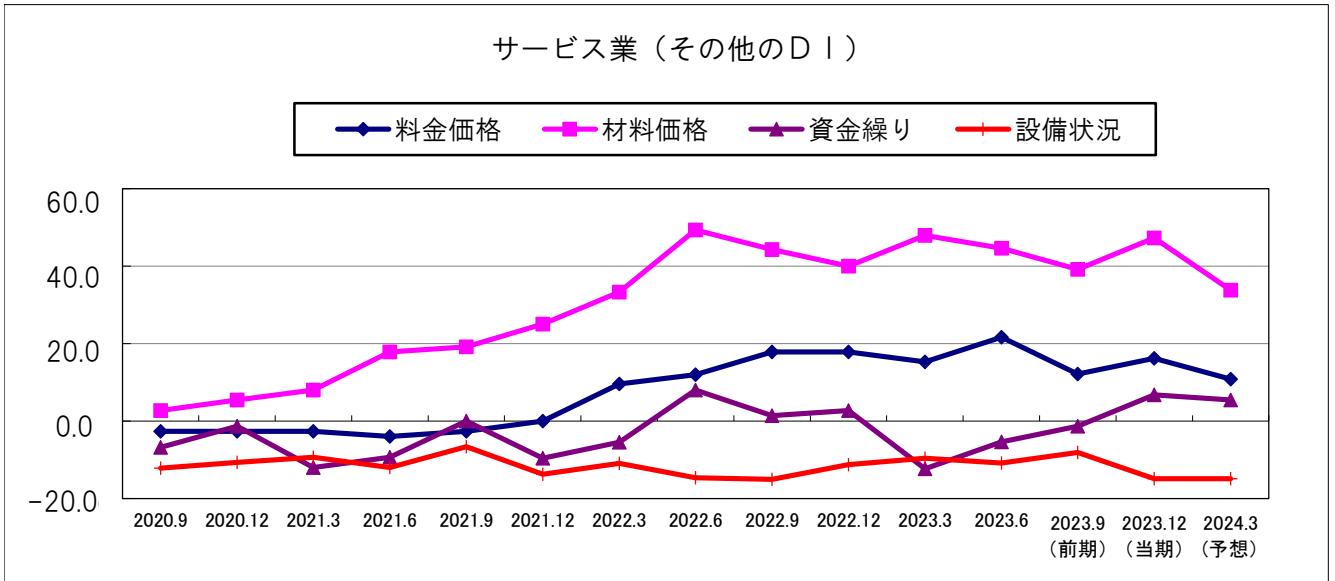
○収益DI



収益DIは、対前期比▲1.4ポイントの▲1.4(前年同期▲4.1・前回予想との差▲6.8)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲1.3ポイントの▲2.7と悪化を見込んでいます。



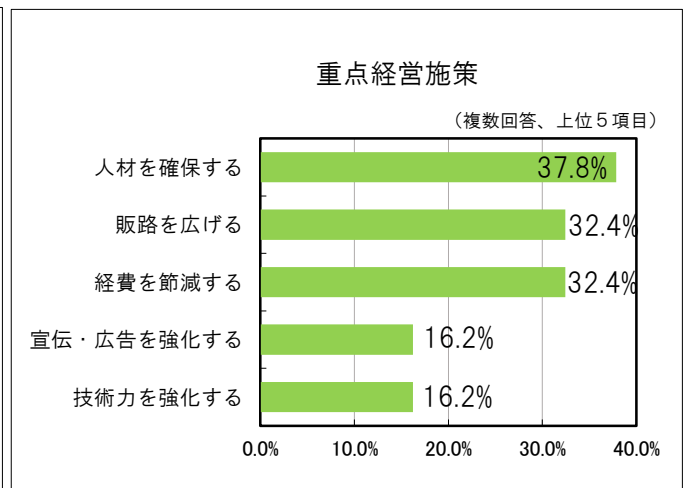
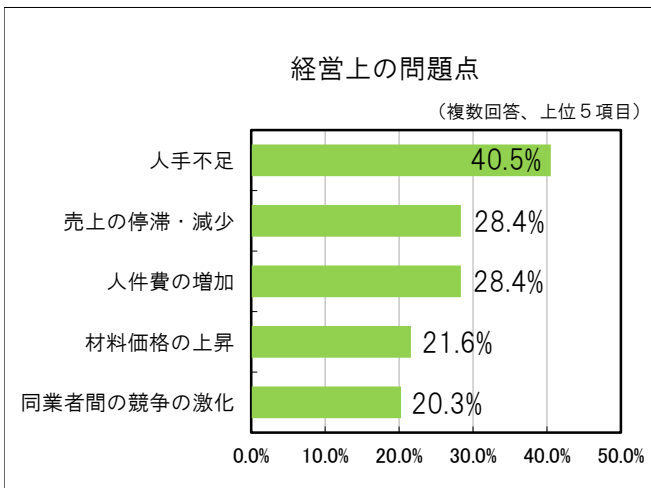
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比で見ると、料金価格DIは+4.0ポイントの16.2、材料価格DIは+8.1ポイントの47.3、資金繰りDIは+8.2ポイントの+6.8、設備状況DIは▲6.8ポイントの▲14.9となりました。今後は、設備状況DIは横這い、料金価格DI・材料価格DI・資金繰りDIで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が40.5%と最も多く、次いで「売上の停滞・減少」「人件費の増加」が共に28.4%、「材料価格の上昇」21.6%、「同業者間の競争の激化」20.3%となりました。

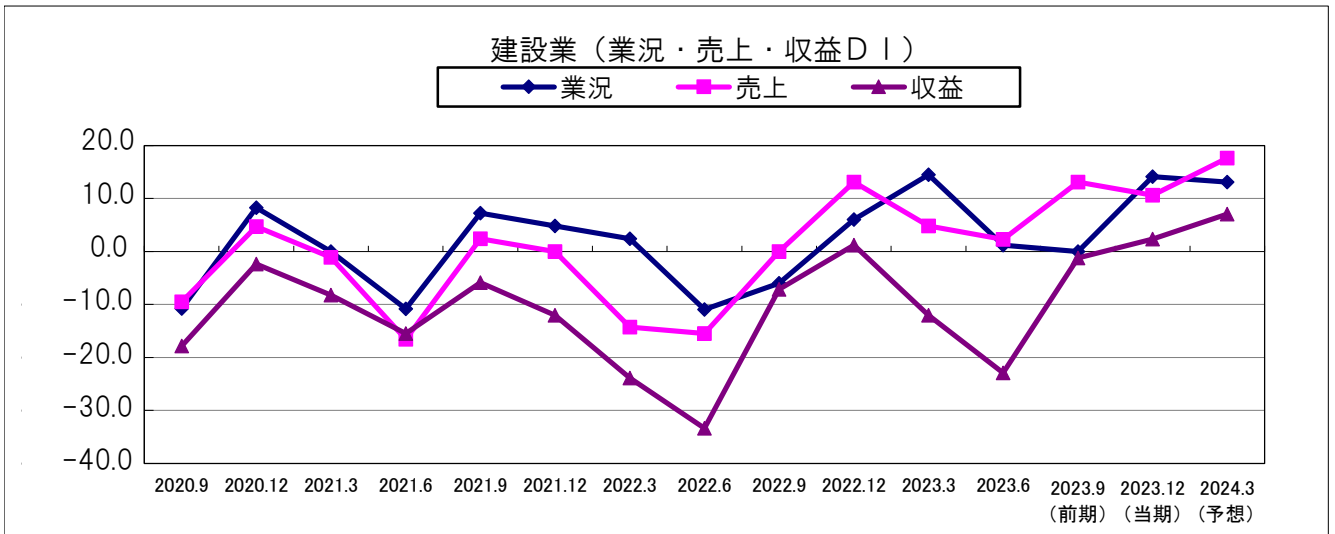
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が37.8%と最も多く、次いで「販路を広げる」「経費を節減する」が共に32.4%、「宣伝・広告を強化する」「技術力を強化する」が共に16.2%となりました。

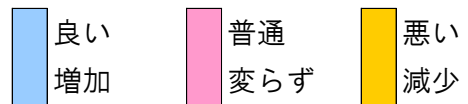
建設業

今期：業況・収益D I共に改善、売上D Iは悪化
 来期：売上・収益D Iは改善、業況D Iは悪化の見込み

主要D I 推移



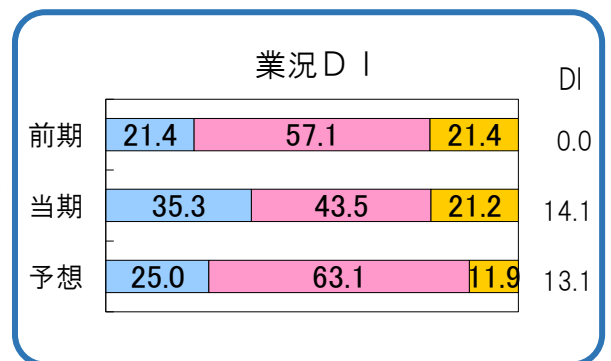
主要D I 構成



○業況D I



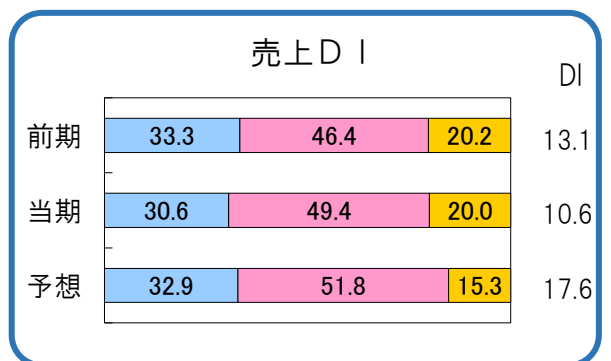
業況DIは、対前期比+14.1ポイントの14.1(前年同期6.0・前回予想との差+3.4)と大幅な改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲1.0ポイントの13.1と悪化を見込んでいます。



○売上D I



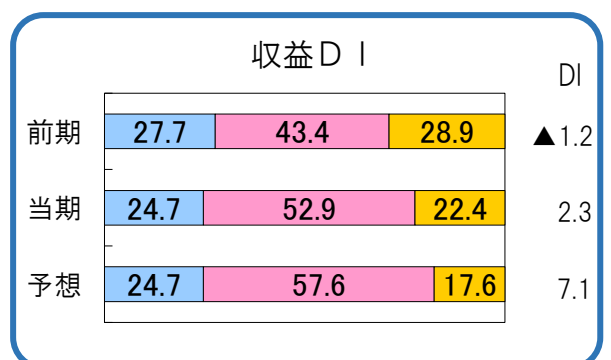
売上DIは、対前期比▲2.5ポイントの10.6(前年同期13.1・前回予想との差+3.4)の悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+7.0ポイントの17.6と改善を見込んでいます。



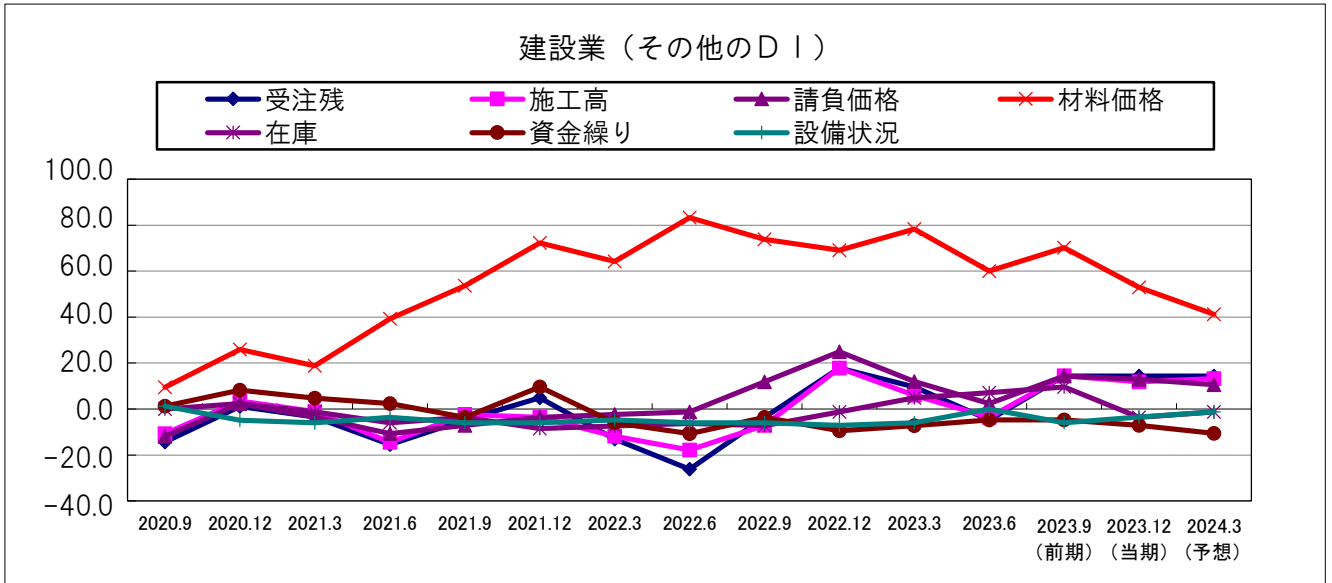
○収益D I



収益DIは、対前期比の+3.5ポイントの2.3(前年同期1.2・前回予想との差+3.5)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比+4.8ポイントの7.1と改善を見込んでいます。



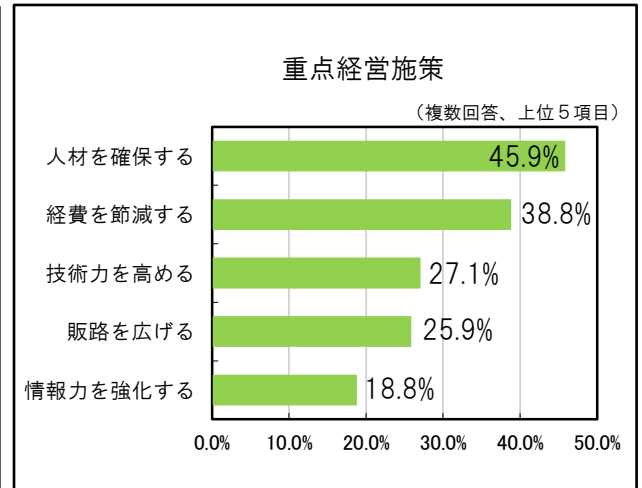
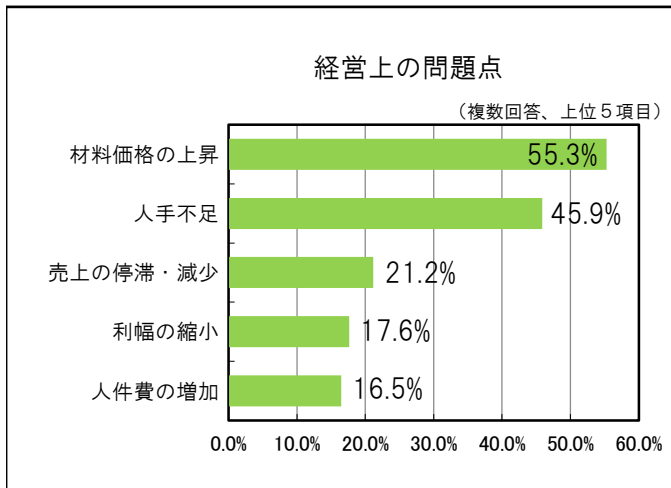
その他のD | 推移



○その他のD |

対前期比でみると、受注残DIは±0.0ポイントの14.3、施工高DIは▲2.6ポイントの11.9、請負価格DIは▲1.4ポイントの12.9、材料価格DIは▲17.3ポイントの52.9、在庫DIは▲13.2ポイントの▲3.6、資金繰りDIは▲2.3ポイントの▲7.1、設備状況DIは+2.5ポイントの▲3.5となりました。今後は、施工高DI・在庫DI・設備状況DIは上昇、受注残DIは横這い、請負価格DI・材料価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が55.3%と最も多く、次いで「人手不足」45.9%、「売上の停滞・減少」21.2%、「利幅の縮小」17.6%「人件費の増加」16.5%となりました。

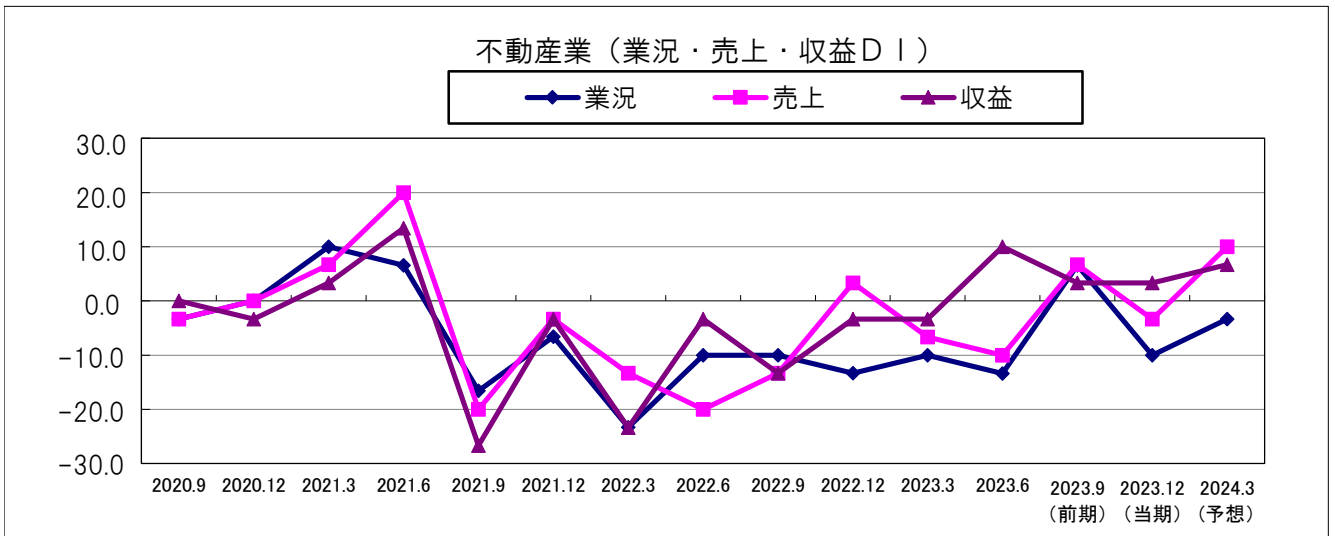
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が45.9%と最も多く、次いで「経費を節減する」38.8%、「技術力を高める」27.1%、「販路を広げる」25.9%、「情報力を強化する」18.8%となりました。

不動産業

今期：収益DIは改善、業況・売上DIは悪化
 来期：業況・売上・収益DIともに改善の見込み

主要DI推移



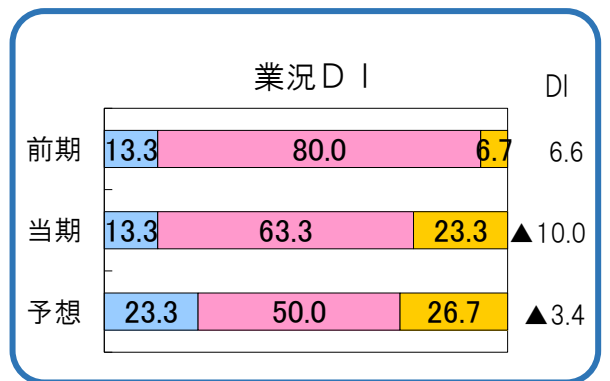
主要DI構成



○業況DI



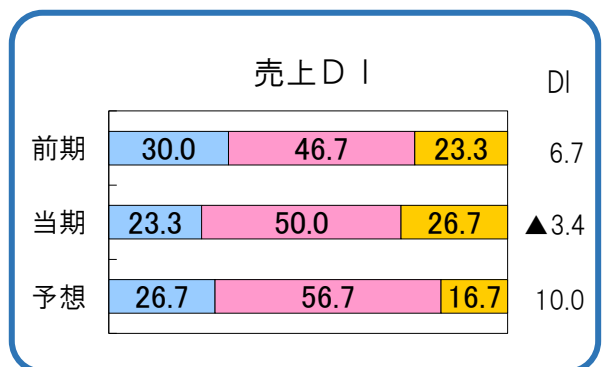
業況DIは、対前期比▲16.6ポイントの▲10.0（前年同期▲13.3・前回予想との差▲6.7）と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+6.6ポイントの▲3.4と改善を見込んでいます。



○売上DI



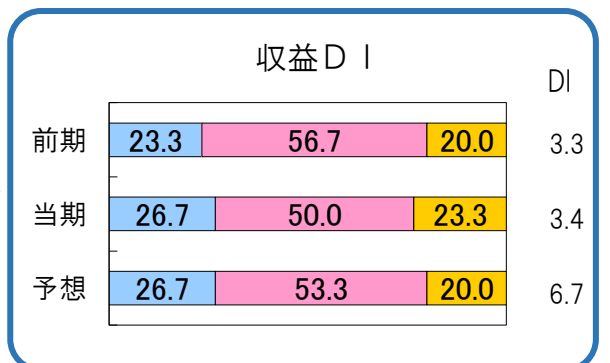
売上DIは、対前期比▲10.1ポイントの▲3.4（前年同期3.3・前回予想との差▲0.1）と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+13.4ポイントの10.0と大幅な改善を見込んでいます。



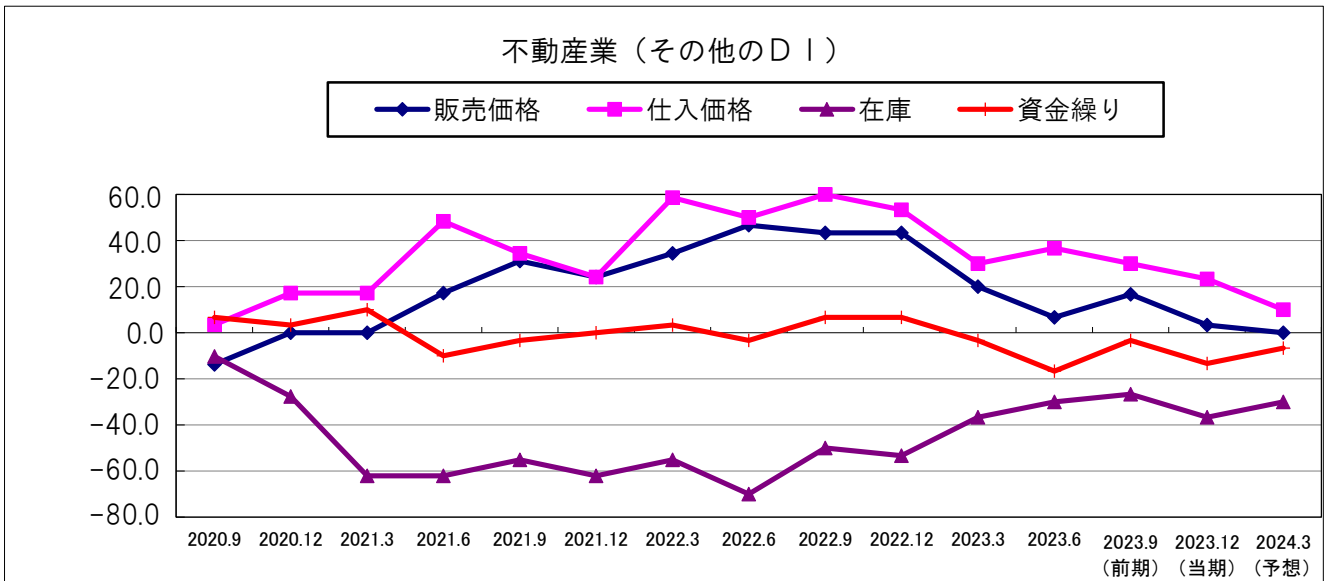
○収益DI



収益DIは、対前期比+0.1ポイントの3.4（前年同期▲3.3・前回予想との差+6.7）の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比+3.3ポイントの6.7と改善を見込んでいます。



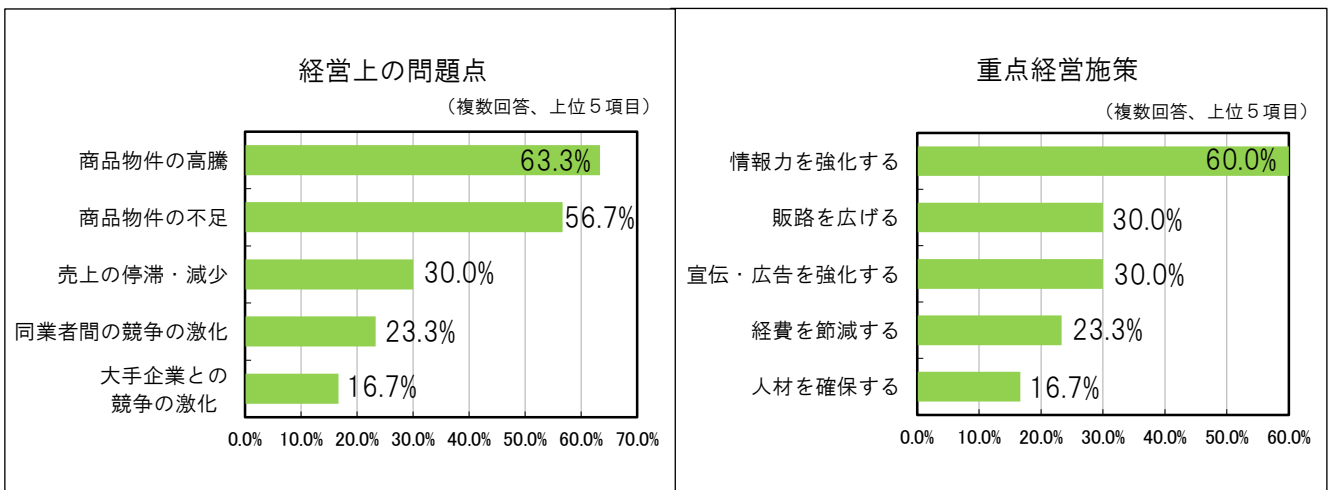
その他のD | 推移



○その他のD |

対前期比でみると、販売価格DIは▲13.4ポイントの3.3、仕入価格DIは▲6.7ポイントの23.3、在庫DIは▲10.0ポイントの▲36.7、資金繰りDIは▲10.0ポイントの▲13.3となりました。今後は、在庫DI・資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

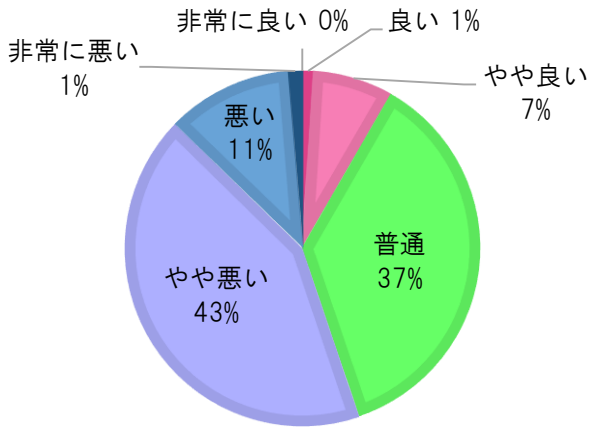
経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の高騰」が63.3%と最も多く、次いで「商品物件の不足」56.7%、「売上の停滞・減少」30.0%、「同業者間の競争の激化」23.3%、「大手企業との競争の激化」16.7%となりました。

【重点施策】

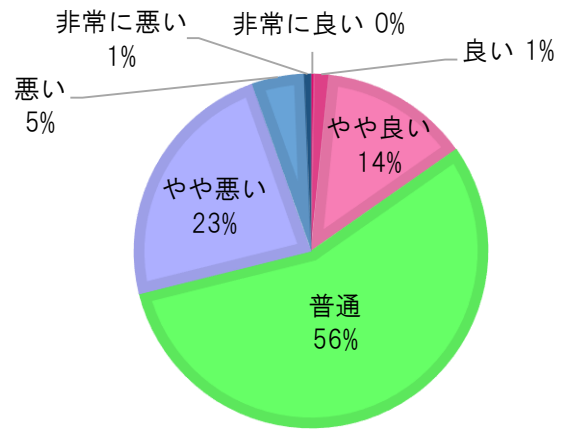
当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が60.0%と最も多く、次いで「販路を広げる」「宣伝・広告を強化する」が共に30.0%、「経費を節減する」23.3%、「人材を確保する」16.7%となりました。

単位：（％）

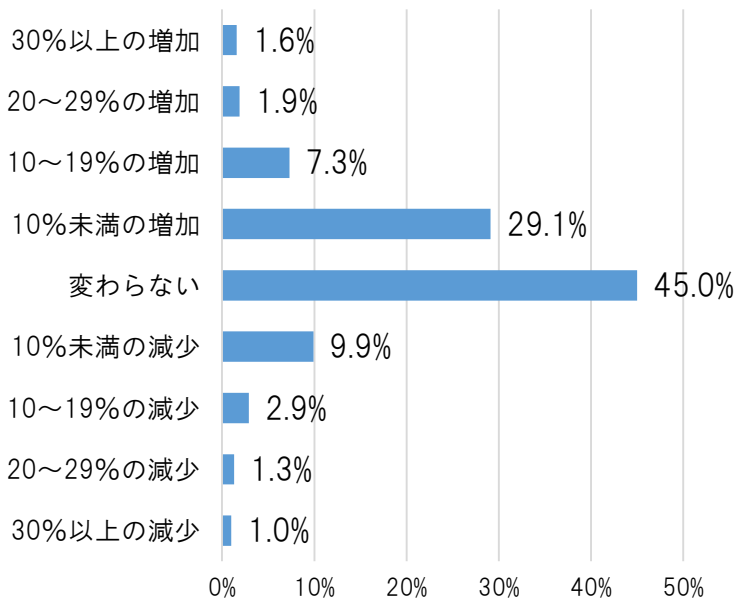
1 2024年の日本の景気をどのように見通していますか。



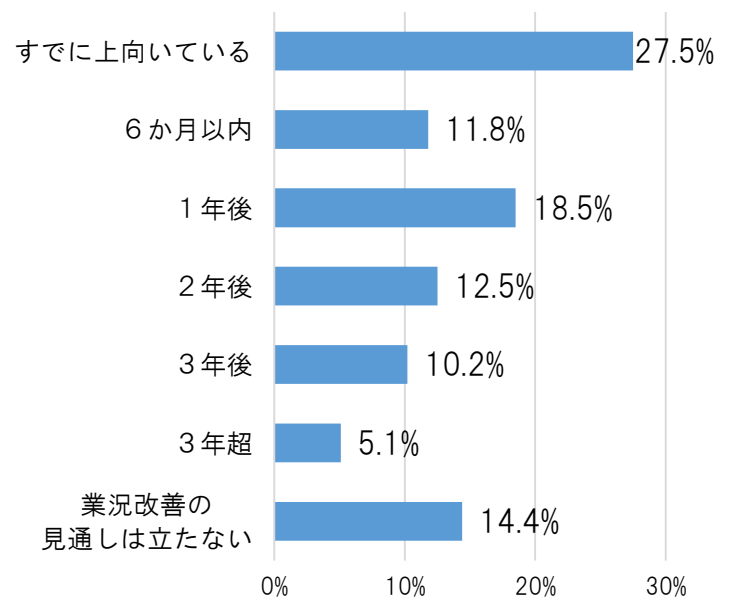
2 2024年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。



3 2024年において売上額の伸び率は、2023年と比べておおよそどのくらいになると見通していますか。



4 自社の業況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



【アンケート調査員のコメント（抜粋）】

- 製造業：原材料高の影響はあるが取引先に説明し販売価格に転嫁出来ている。
- 卸売業：コロナ禍の売上停滞から脱却し、徐々に業況改善している様子。
- 小売業：メーカーの値上げは引き続き発生しており、販売価格への転嫁にて対応していく。
- サービス業：コロナ禍前と比べるとイベントが縮小傾向にある為、小口多数といった特徴がみられる。
- 建設業：インボイス対応やコロナ資金の据え置き期間の終了により、小規模事業者は対応に追われている。
- 不動産業：依然として土地仕入価格高騰及び商品物件不足が課題。